

吾妻山

○概況

火山活動はやや活発な状態が続いていますが、低下傾向が見られます。

地震回数のやや多い状態が続いていますが、1月を最多に減少しています。また、大穴火口（一切経山南側山腹）付近の噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。

地震活動の状況

地震回数は2003年12月に増加し、今年1月の月合計回数846回を最多に、2月478回と多い状態が続きました。3月の月合計回数も105回とやや多い状態でしたが、日別地震回数では、中旬以降数回程度に減少しています。震源は一切経山南西側にまとまっており、活動域に変化は見られません。

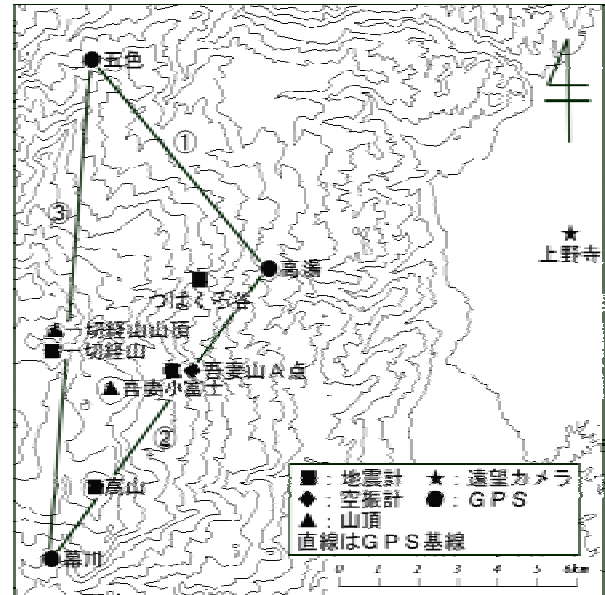
火山性微動は観測されませんでした。

モホ面付近（深さ30km前後）が震源とみられる低周波地震は2回観測されました（先月なし）。

噴気活動の状況

遠望観測（監視カメラ）による大穴火口付近の噴気の高さは、50m以下で推移しており噴気の状態に大きな変化はみられませんでした。

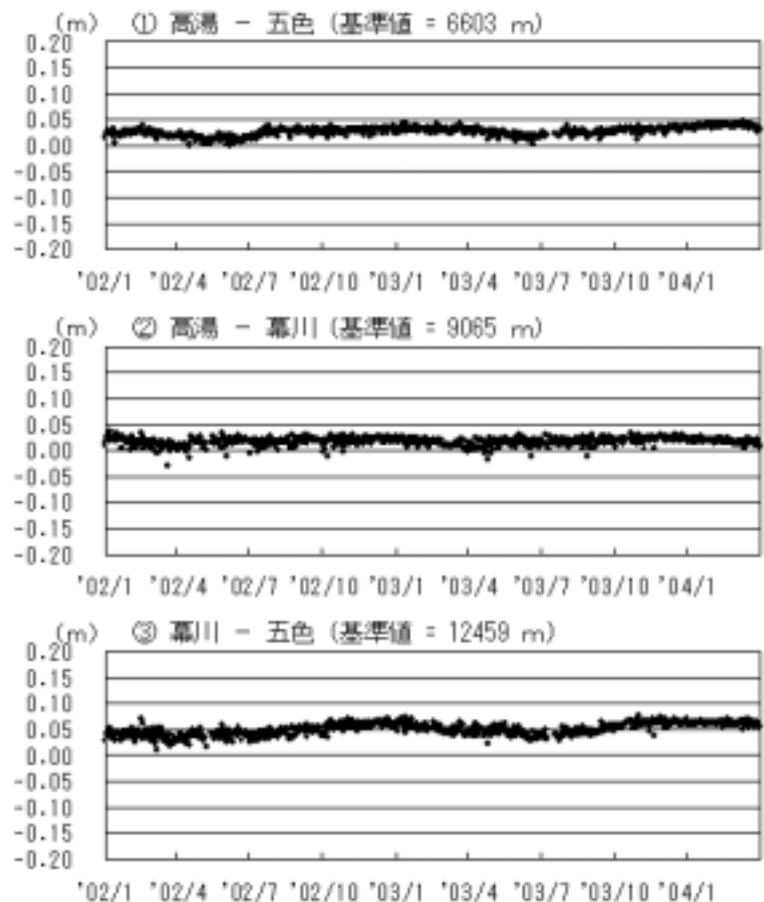
10日に東北地方整備局の協力により行った上空からの観測では大きな変化はみられませんでした。



吾妻山火山観測点配置図

地殻変動活動の状況

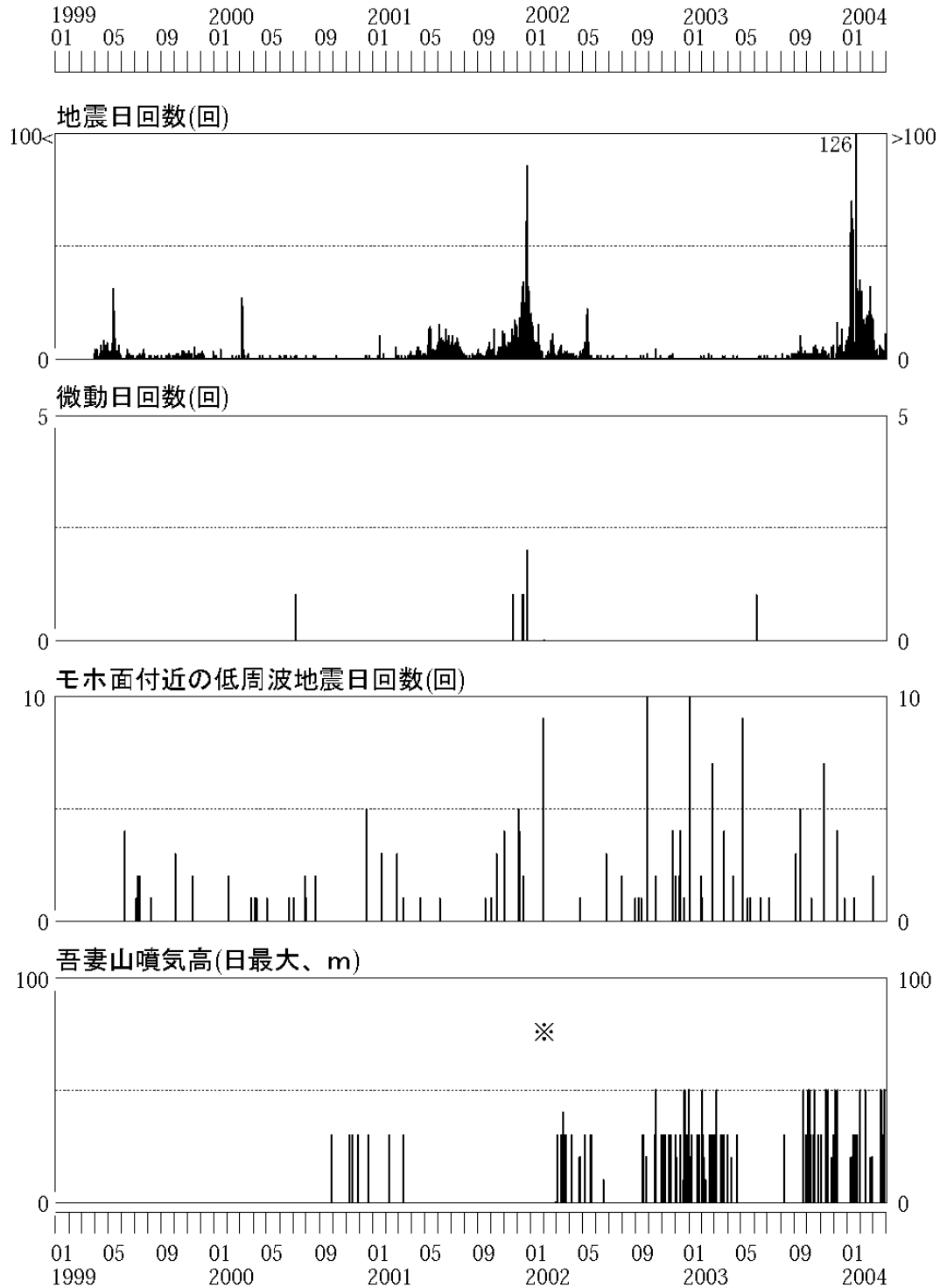
GPSによる観測では、火山活動によると考えられる変化はみられませんでした。



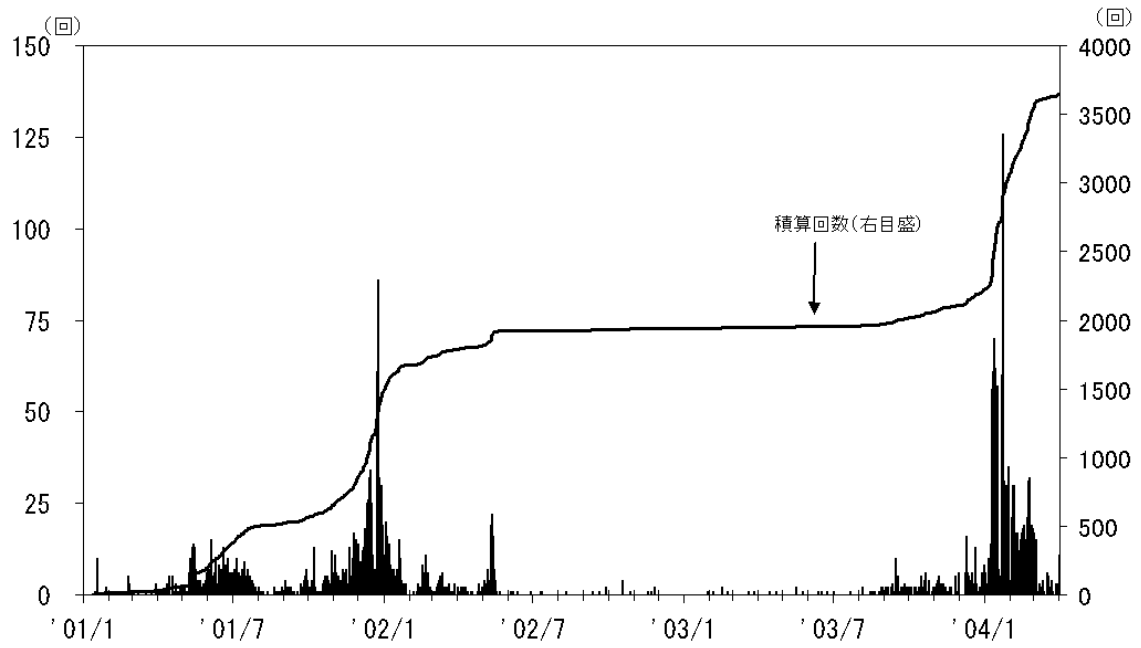
GPS 基線長変化図（2002.1～2004.3）

吾妻山 活動一覧

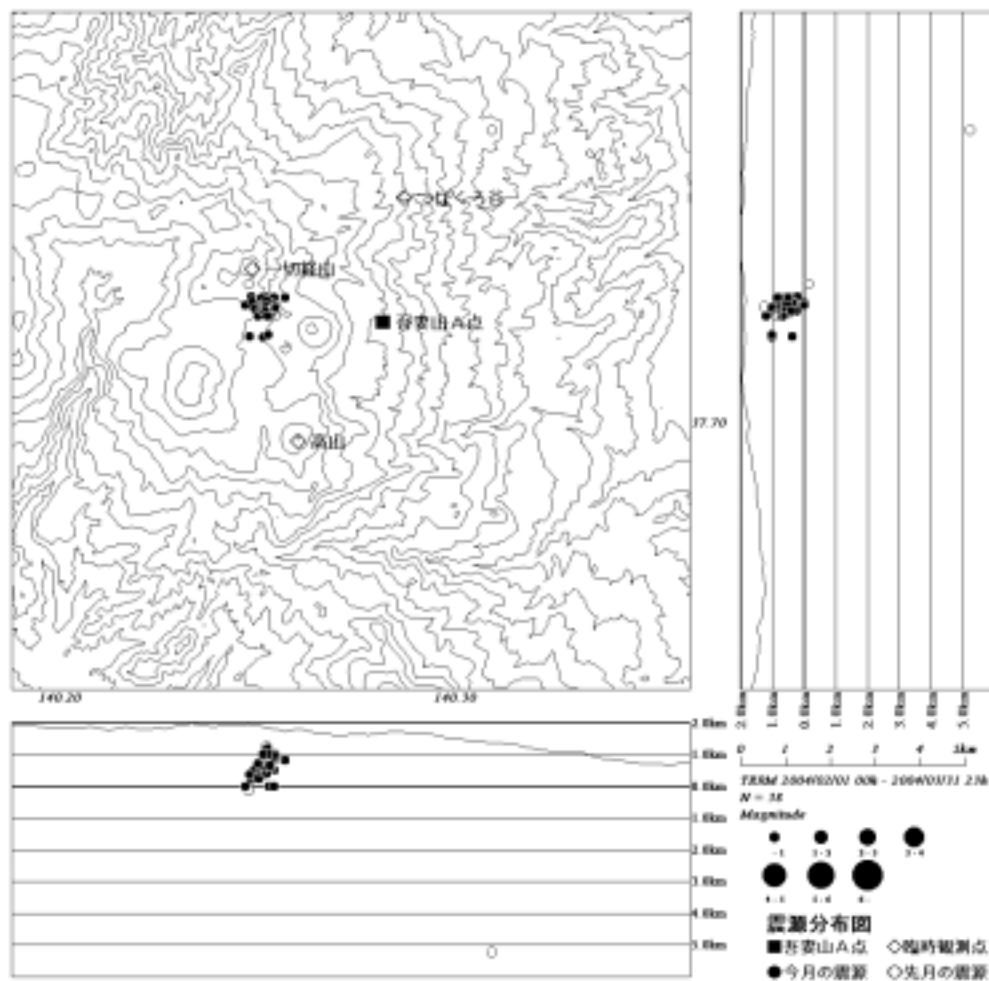
1999/01/01～2004/03/31



※2002年2月以前は定時及び随時観測データ。2002年3月以後は収録データにより全時間を精査



吾妻山日別地震回数とその積算図
(2001 年 1 月 1 日～2004 年 3 月 31 日)

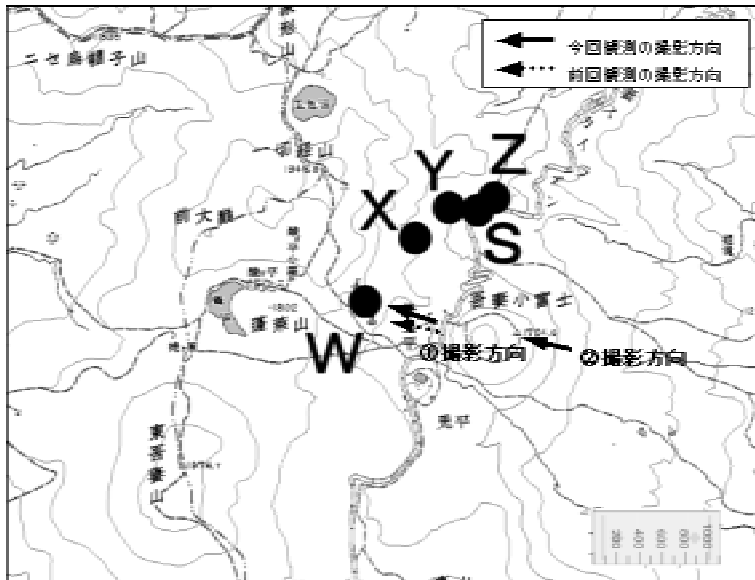


吾妻山震源分布図(2004.2.1～2004.3.31)

2004 年 3 月 10 日東北地方整備局ヘリによる機上観測結果（吾妻山）

①吾妻小富士、一切経山（南東側から撮影）

八幡焼硫気変質地帯では、地熱による雪解けで地肌が露出した領域や、噴気活動がみられますが、全体的に表面現象に変化は見られません。



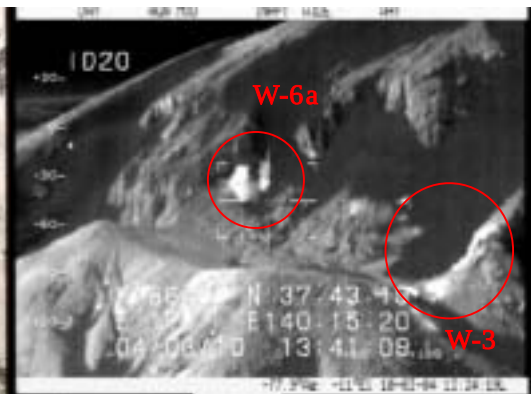
②大穴火口南西側火口壁（W-6a）

高さ約 5m の噴気を確認（2003 年 3 月の観測でも約 5m）しました。前回と比較しても地肌の露出箇所に変化は見られず、赤外線カメラによる観測でも地表面温度の高い領域に変化は見られません。今年は積雪が少なく昨年より広範囲で地肌が見えました。

可視画像

赤外画像

（2004 年 3 月）
今回の観測



（2003 年 3 月）
前回の観測

